

打合議事録		作成日	2020年10月14日(水)
		作成者	和佐田 国聖 (株式会社 ネモト・センサエンジニアリング)
開催内容	アルコール検知器協議会 技術委員会		
開催日時	2020年10月14日(水) 14:15 ~ 15:30 (@Web会議)		
出席者	議事進行: 畑技術委員長 出席者: 技術委員会、業務委員会		
議論内容	<p>1) 外部検定運用状況及び質問事項について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● J-BAC認定品 2020年10月時点: 8社30機種 ● 維持審査残り: 1社3機種 ● 今年度の外部検定の方針についての確認 ● 仕様変更申請先は技術委員長宛てに提出を改めて周知 ● CERI様報告書について、型式入力を追加 ● 報告書の評価結果がNG、もしくは保留となったものについて備考欄に詳細を記載できるように修正した。 ● CERI様より維持審査においても基本要件の審査が必要ですかとの問い合わせがあり、初回にて問題なかった企業においては必要なく、書類のみでOKと回答。 ● mg/Lの説明については必要なく、濃度単位としてmg/Lが使用されている旨記載があれば問題なし。 ● CERI様に維持審査の電子書類結果を協議会に送付し、検定審査会終了後、書類の原本を該当する企業に送付するよう要請 ● 申請時は電子文書のみを技術委員長に提出し、原本の郵送等は必要なし。 <p>2) JB20001/ISO規格について</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 8月より定期的にWGが開催され、9月末に一旦グレードアップ案を作成した。10月より清書版作成に着手。CERI様に規格案の内容を確認依頼中 ● JB00, 10も併せて修正予定 ● ISOについては、7月末にJCCLSより新規提案に必要なForm04の作成依頼があり、9月頭に提出済み ● 現在規格文書案を作成中。10/23にJCCLS委員会開催までにまずJB20で作成した案を提示する予定。 <p>3) 技術問い合わせ</p> <ul style="list-style-type: none"> ● 義歯安定剤についてコロナにより臨床試験準備が遅れている状況。スケジュールの見直しを検討する。 ● 不妊治療で利用される造影剤がアルコール検知器に影響するかとの問い合わせあり、臨床試験の結果から影響はないことが確認されている。 ● 飲んでないのにアルコールが検出される(既定製品でない)が、アセトンは影響がないのかとの問い合わせ有。J-BACの規格を満足している製品であれば反応しないものと考えられるが、詳細はメーカーにお問い合わせくださいと回答。 ● 検査医学標準物質機構(ReCCS)より標準物質の製造を行っているため、アルコール標準液を提供したいという意向あり。まずは現在の外部検定の試験方法を見学したいとの事であったが、CERI様よりお断りされたため、以前の自主検定で行われた企業様の試験現場を見学してもらいたいと考えているため、見学可能な企業様を募集する。 		

	<ul style="list-style-type: none"> ● またJB10を取得した企業様の機器を評価したいとの事であるため、その試験に提供頂ける企業様を募集する。 ● ReCCS製標準液をマスターにすることができれば各メーカーが自社で作製したアルコール液の確からしさのチェックが可能 <p>4) その他</p> <ul style="list-style-type: none"> ● WGについては、逐一参加者を募集しているため、ご協力頂きたい。
宿題事項	<ul style="list-style-type: none"> ● 現地審査についてWEBでできないか。WEBカメラの画像共有を検討してほしい。ただし、その際には違反なきように現品のマーキング方法などについて細やかなルール作りが必要で、違反した場合はペナルティを厳しくするなどの意見あり。 <p>→ CERI様に確認する予定。</p>
スケジュール	<p>2021年2月24日、大阪開催</p>

以上